

令和7年度 第4回 彦根市廃棄物減量等推進審議会

令和7年12月23日

彦根市 市民環境部

目次

1 / 食品ロスの状況について

2 / 食品ロス削減推進計画の策定状況
について

3 / まとめ

1 食品ロスの状況について

1-1 国の状況

1-2 滋賀県の状況

1-3 彦根市における家庭系食品ロスの状況

1-4 彦根市における事業系食品ロスの状況

1-5 滋賀県の取組

1-6 彦根市の取組

1-7 他市町の取組

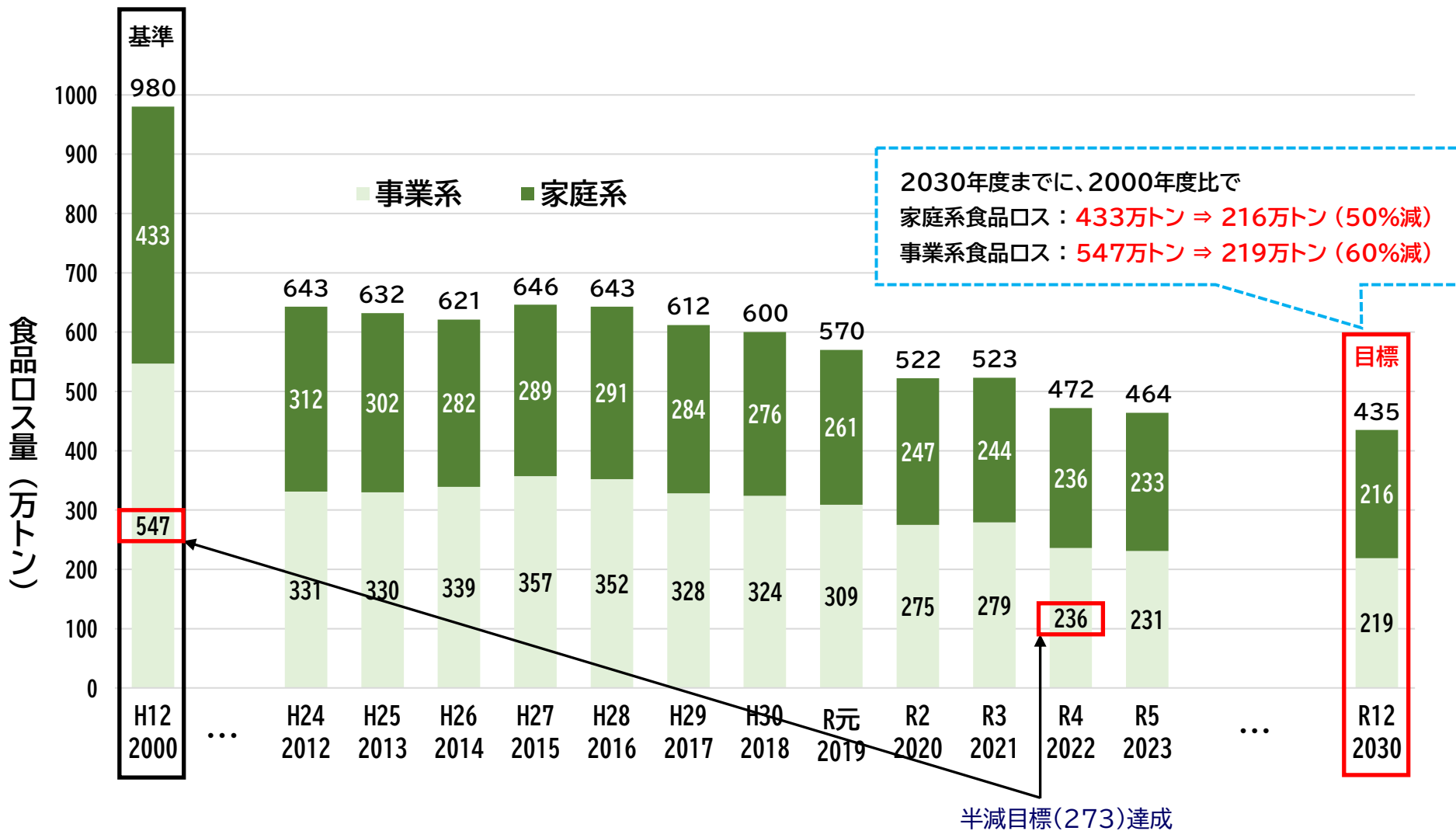
1-8 彦根市における食品ロスの課題

《国の食品ロスに関する計画・削減目標》

年月	計画・削減目標
平成30年6月	第四次循環型社会形成推進基本計画 【目標設定】 家庭系食品ロス：2000年度比で2030年度までに半減
令和元年7月	食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針 【目標設定】 事業系食品ロス：2000年度比で2030年度までに半減
令和元年10月	食品ロスの削減の推進に関する法律 施行 ・ 国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進するため制定 ・ 市町村食品ロス削減推進計画の策定の明示 — 努力義務
令和2年3月	食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針 【目標設定】 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合を80%
令和7年3月	食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針 【目標設定】 事業系食品ロス：2000年度比で2030年度までに60%減

1-1

国の状況

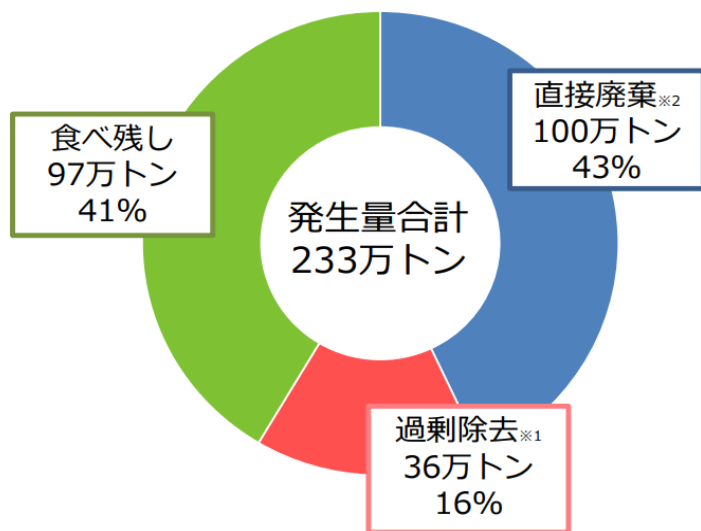


家庭系、事業系ともに減少傾向

令和5年度（2023年度）の食品ロス量

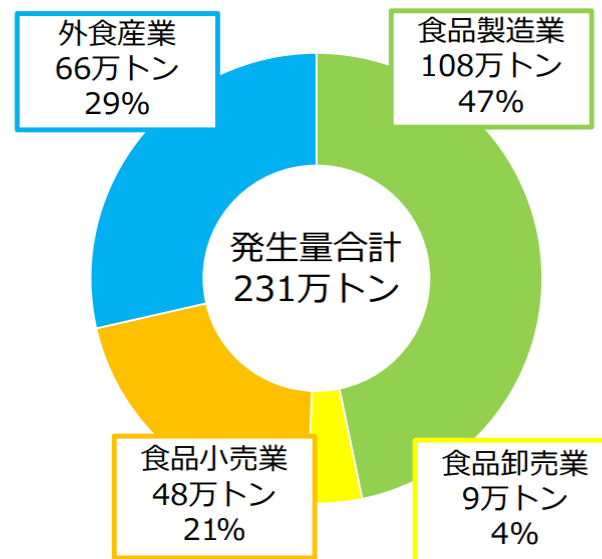
年間 464万トン ⇒ 1人1日当たり 約102グラム

家庭系食品ロスの内訳



※1：野菜の皮を厚くむき過ぎるなど、食べられる部分が捨てられている
 ※2：未開封の食品が食べずに捨てられている

事業系食品ロス（可食部）の業種別内訳



製造・卸・小売事業者

○製造・流通・調理の過程で発生する規格外品、返品、売れ残りなどが食品ロスになる

外食事業者

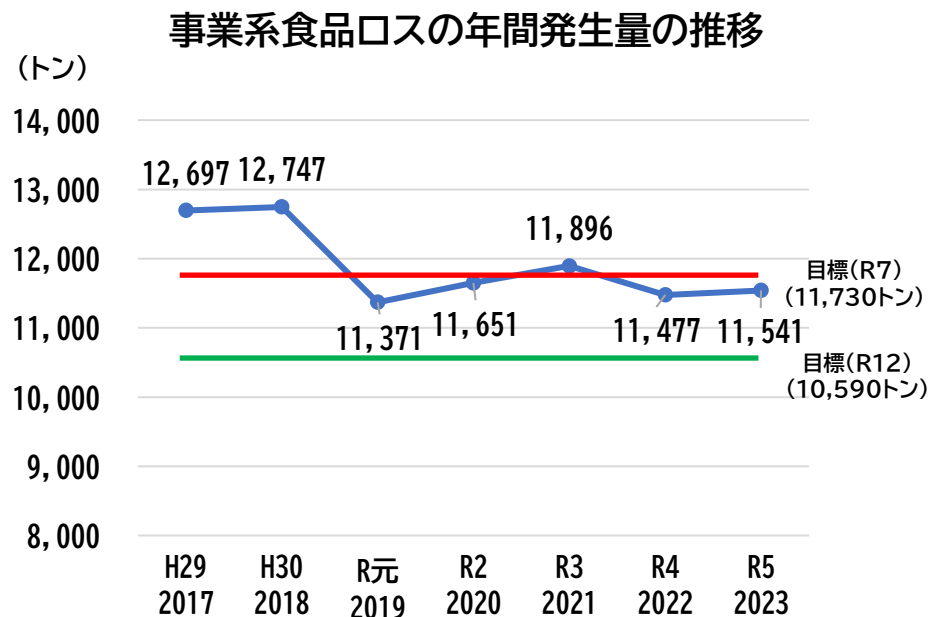
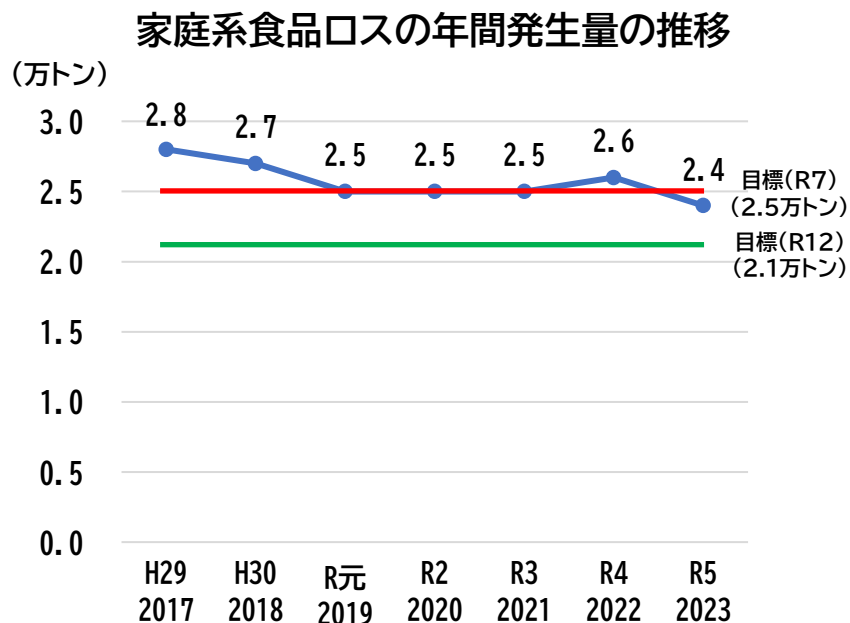
○作り過ぎ、食べ残しなどが食品ロスになる

令和3年3月 滋賀県食品ロス削減推進計画 策定

【食品ロス発生量に関する削減目標】

平成29年度(2017年度)比で、

令和7年度(2025年度)と令和12年度(2030年度)に目標設定



家庭系、事業系ともに、近年横ばいで目標(R7)付近を推移

《家庭系燃やすごみ組成分析調査》

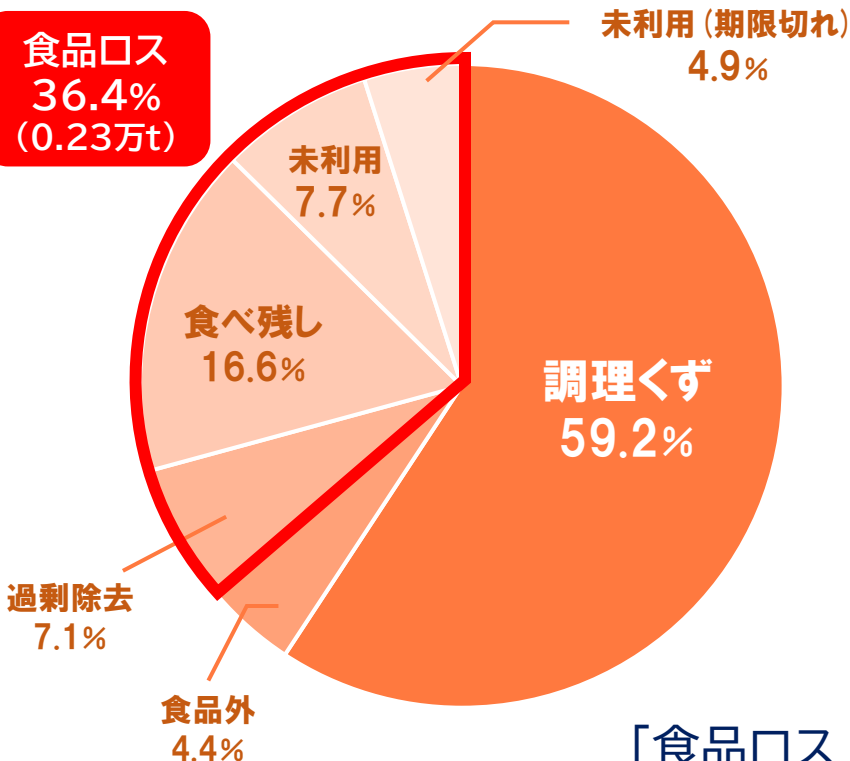
【生ごみの内訳】

【調査方法】

試料：集積所(5箇所)から収集した
燃やすごみ 約 30 kg
回数：年2回

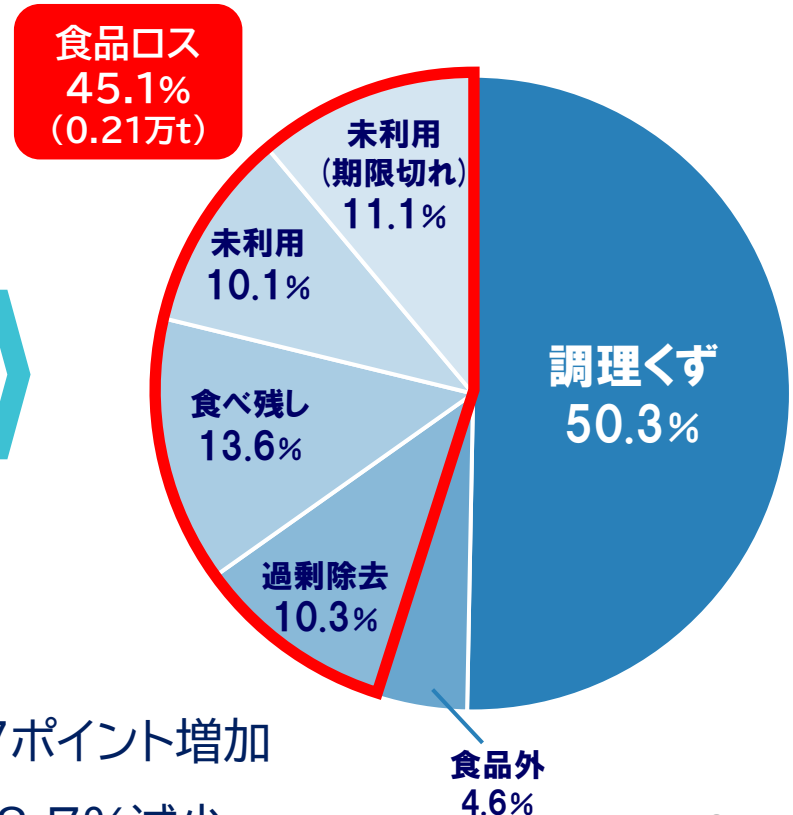
平成29年度から令和元年度

(令和元年度 生ごみの推計量:約0.64万トン)



令和6年度

(令和6年度 生ごみの推計量:約0.47万トン)



「食品ロス」は、8.7ポイント増加
推計量としては、8.7%減少

《家庭系燃やすごみ組成分析調査》

本調査で捨てられていた、食品ロスの写真



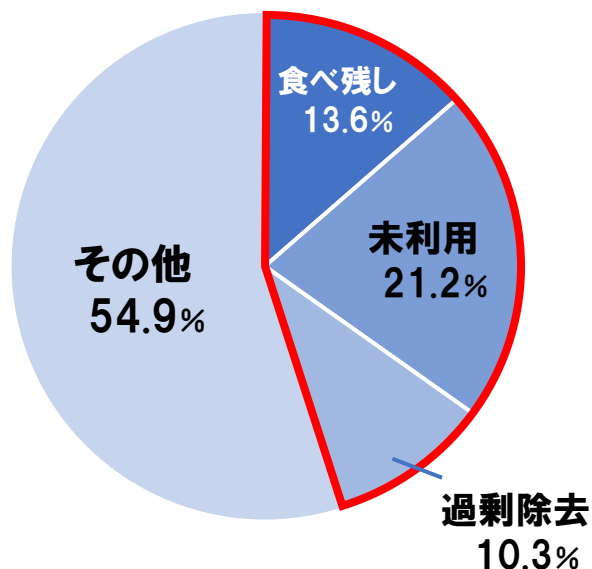
未利用



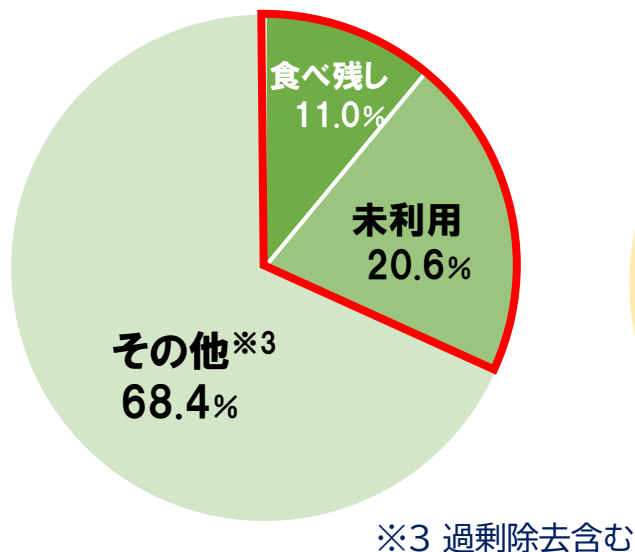
未利用(期限切れ)

《他市町や全国との比較》

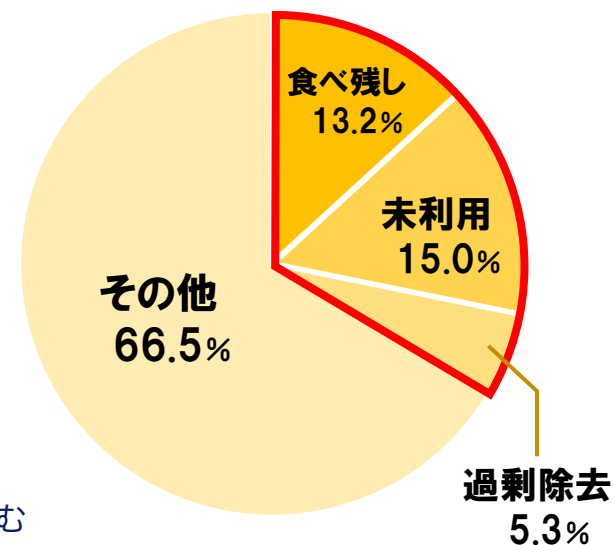
彦根市(R6)



草津市(R6)※1



全国(R5)※2



※1 草津市ホームページ「令和6年度第1回草津市廃棄物減量等推進審議会」より作成

※2 環境省「令和6年度 食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査 報告書」より作成

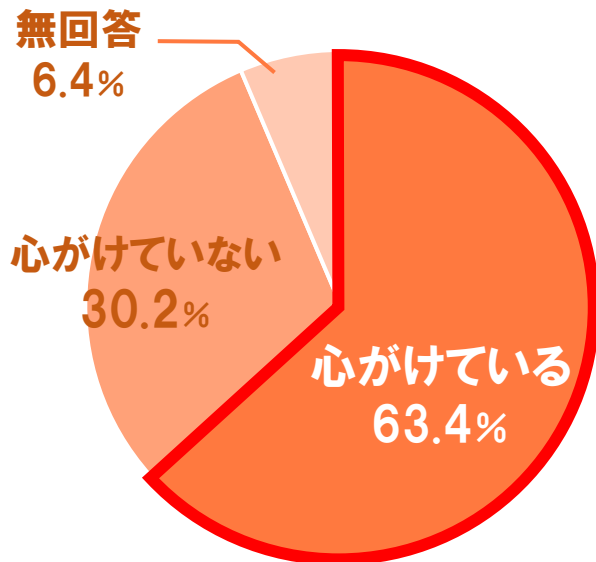
《彦根市健康・食育に関するアンケート調査》

◎ 買い過ぎない・作り過ぎないなど、
ごみを少なくするように心がけている人の割合

平成30年度

【調査方法】

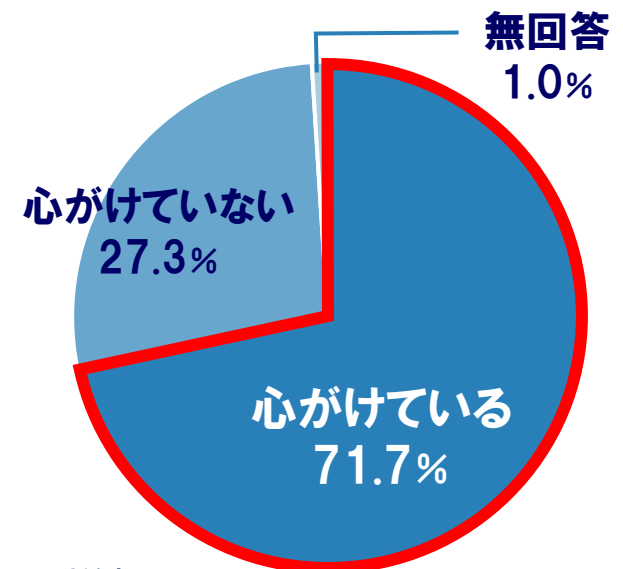
対象：彦根市在住 16～64歳 2,000人
期間：平成30年8月9日～同月27日
回答：703件 / 2,000件



令和5年度

【調査方法】

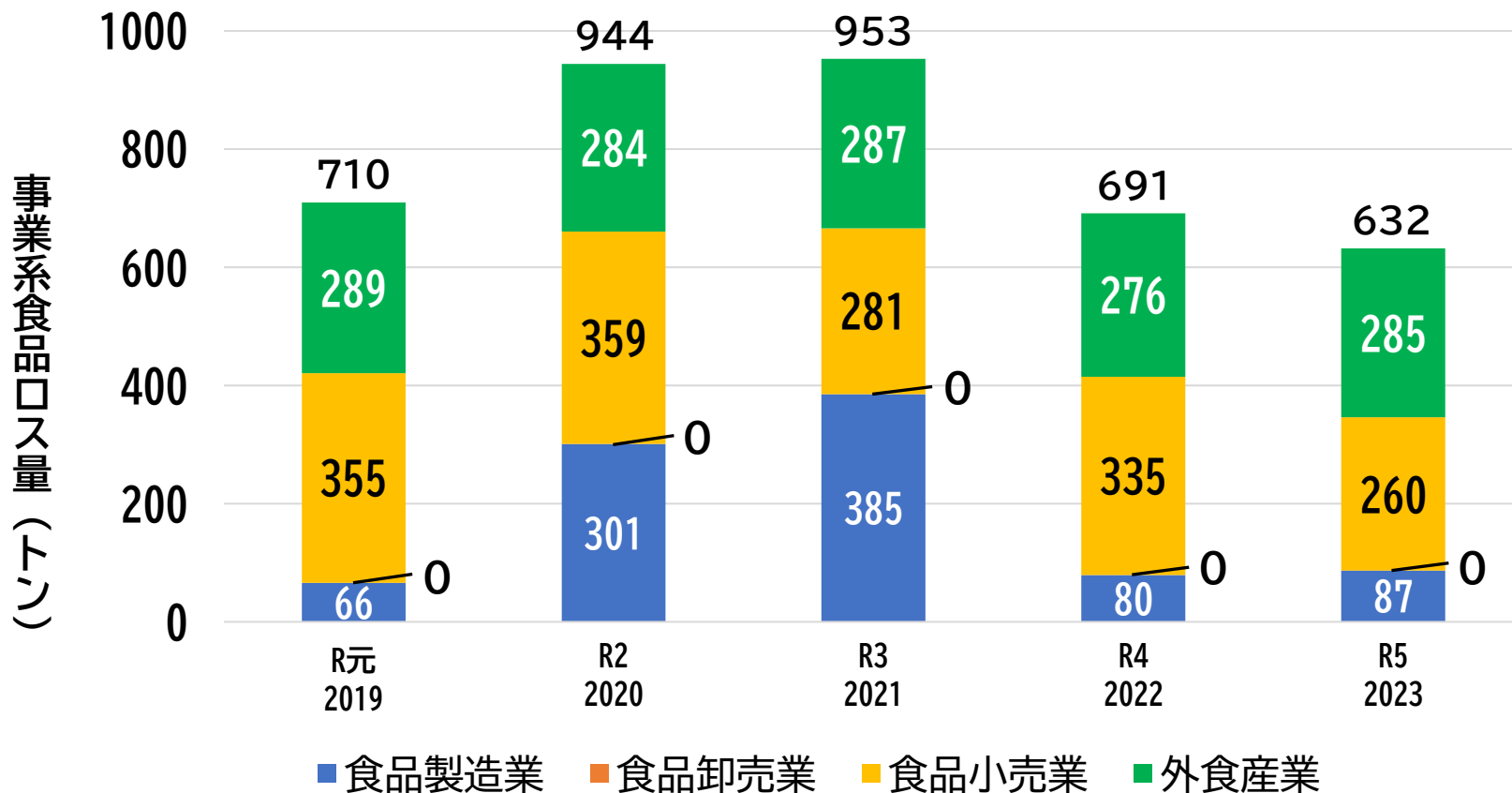
対象：彦根市在住 16～64歳 2,000人
期間：令和5年8月4日～同月17日
回答：561件 / 2,000件



心がけている人は、8.3ポイント増加

1-4

彦根市における事業系食品ロスの状況



食品廃棄物等多量発生事業者(年間100トン以上)からの食品廃棄物等の発生量に、
食品関連事業者における食品廃棄物等の可食部の割合を乗じて算出

農林水産省「食品リサイクル法に基づく食品廃棄物等多量発生事業者の定期報告における食品廃棄物の発生量及び再生利用の実施量」より作成
農林水産省「令和2年度および令和5年度 食品産業リサイクル状況等調査委託事業(食品関連事業者における食品廃棄物等の可食部・不可食部の量の把握等調査)報告書」より作成

平成29年 食品ロスの削減を推進するため、 【三方よし!!でフードエコプロジェクト】 立ち上げ

① 三方よしフードエコ推奨店への登録・県HPや県公式YouTubeで紹介

対象：滋賀県内で営業する飲食店、宿泊施設、食料品小売店

要件：以下項目の積極的な取組

飲食店・宿泊施設	食料品小売業
食品ロス削減の呼びかけ（必須）	食品ロス削減の呼びかけ（必須）
食べ残しを少なくするメニュー設定	ばら売り、量り売りによる販売
料理の量の調節等	割引販売
無駄のない食材の確保、食材の使い切り	賞味期限表示・消費期限表示に係る啓発
完食した来店者に対する独自サービス	食品ロス削減レシピの情報提供
上記以外の取組	上記以外の取組



推奨店登録ステッカー

登録店舗：393店舗（令和7年11月末時点）

② 滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減優良取組表彰（令和2年度から）

優れた取組を行った滋賀県内で活動する個人、事業者、団体を表彰することで、取組内容を水平展開し、食品ロスなどの取組の重要性の周知および実践を促すもの

	受賞者（食品ロスのみ）
令和2年度	ダイエー瀬田店・イオンフードスタイル、(株)パリア
令和3年度	(株)平和堂、(国)滋賀大学経済学部地域連携教育推進室、(有)丸二果実店
令和4年度	生活協同組合コープしが、フードバンク滋賀、Going Nuts!
令和5年度	田中酒造(株)、(一社)フードバンクながはま、農業生産法人(株)アグリケーション
令和6年度	元三フード(株)、(株)Fast Fitness Japan、(一社)フードバンクびわ湖、ONESLASH(株)



表彰式の様子

③ 食品ロス削減のレシピの紹介

料理レシピサービス「クックパッド」の消費者庁公式ページのリンクを滋賀県ホームページに掲載

食材を無駄にしないレシピを1,000件以上紹介



クックパッド掲載レシピ
「柿の皮を使った料理」

① 小学生への出前授業

小学4年生のごみの授業において、彦根市の食品ロスの状況やすぐに実践できる取組として、3キリ(水キリ・食べキリ・使いキリ)などを説明



小学生への出前授業

② パネル展示での啓発

10月の「食品ロス削減月間」に合わせて、パネル展示を実施

場所：本庁舎1階 市民ホール

期間：令和7年10月1日～10日

内容：国や彦根市の現状（組成分析調査の内訳など）

賞味期限、消費期限の違い

捨てられやすい食品、捨ててしまう理由

30・10（さんまる・いちまる）運動

三方よしフードエコ推奨店の紹介

チラシや冊子の配布

など



パネル展示

③ 市ホームページや広報ひこね、FMひこねでの啓発

10月の「食品ロス削減月間」や忘年会シーズンを中心に、国の食品ロス量や彦根市の家庭系燃やすごみの組成分析調査の内訳、3キリ(水キリ・食べキリ・使いキリ)などを掲載

全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会 全国キャンペーン

年末年始の外食時&テイクアウト時は おいしく残さず 食べきろう!

忘新年会では...
「宴会五箇条」 「30・10運動」を実践しよう

- ① まずは、**適量注文**
- ② 幹事さんから「おいしく食べきろう!」の声かけ
- ③ 開始30分、終了10分は、席を立たずにしっかり食べる「食べきりタイム!」
- ④ 食べきれない料理は仲間で分け合おう
- ⑤ それでも食べきれなかった料理は、お店の方に確認して持ち帰りましょう

お持ち帰り時の注意点

食べきれなかった料理を持ち帰る際には、お店の方の説明をよく聞いて、食中毒のリスクなどを十分に理解しましょう。

安全においしく召し上がっていただくためご自身でしっかり管理しましょう。



テイクアウト時は...

テイクアウトでも、油断は禁物! おいしく食べられる量の注文を心がけましょう。

【問い合わせ先】
彦根市市民環境部生活環境課ごみ減量・資源化推進室
〒522-8501 彦根市元町4番2号 TEL 0749-30-6116




「彦根市」は「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加しています。

食品ロスとは

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことで、過剰に除去した可食部分(野菜や果物の厚みなど)、食べ残し、未利用食品(賞味期限・消費期限切れなどによる手つかずの食品)などが挙げられます。

もったいないだけでなく、ごみ処理費用の増大や環境への負荷が問題になっています。

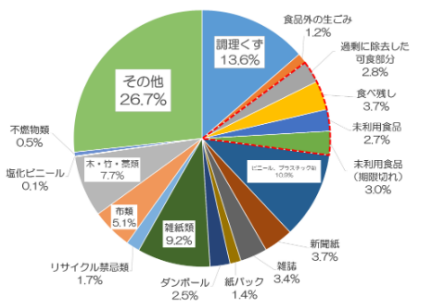


日本では、1年間に約464万トンの食品ロスが発生していると言われています。

1人一日当たり約102グラム捨てていることになるんだね。(環境省および農林水産省の令和5年度推計値)

彦根市では、家庭から出る燃やすごみの内訳を調べています。

令和6年度の調査によると、家庭から出る燃やすごみにおける食品ロスの割合は、約12.2%でした。



品目	割合
調理くず	13.6%
食品外の生ごみ	1.2%
過剰に除去した可食部分	2.8%
食べ残し	3.7%
未利用食品	2.7%
未利用食品(期限切れ)	3.0%
新聞紙	3.7%
雑誌	3.4%
紙パック	1.4%
ダンボール	2.5%
リサイクル紙類	1.7%
その他	26.7%
木・竹・葉類	7.7%
布類	5.1%
雑紙類	9.2%
不燃物類	0.5%
塩化ビニール	0.1%

令和6年度 家庭から出る燃やすごみの組成分析調査結果

3キリとは

水キリ、食べキリ、使いキリの3つの「キリ」を表したものです。

3キリを実践していただくことで、燃やすごみとなる生ごみを減量させることができます。

水キリ

生ごみはしっかり水気を切りましょう!

- ◇ 濡らさない
- ◇ 野菜のヘタなど使えない部分は、洗う前に切り落とす
- ◇ ひとしぼり
- ◇ 生ごみを出す前に「ギュッと」ひとしぼり
- ◇ 乾燥させる

茶殻、コーヒーかす、果物などの皮は一晚乾燥させる



食べキリ

料理は美味しく食べ切りましょう!

- ◇ 料理は、食べられる量だけ準備し、残さず食べる
- ◇ 食べきれなかったときは、冷蔵・冷凍で保管する
- ◇ 外食は、食べられる分だけ注文し、残さず食べる



使いキリ

食材を余さず使い切りましょう!

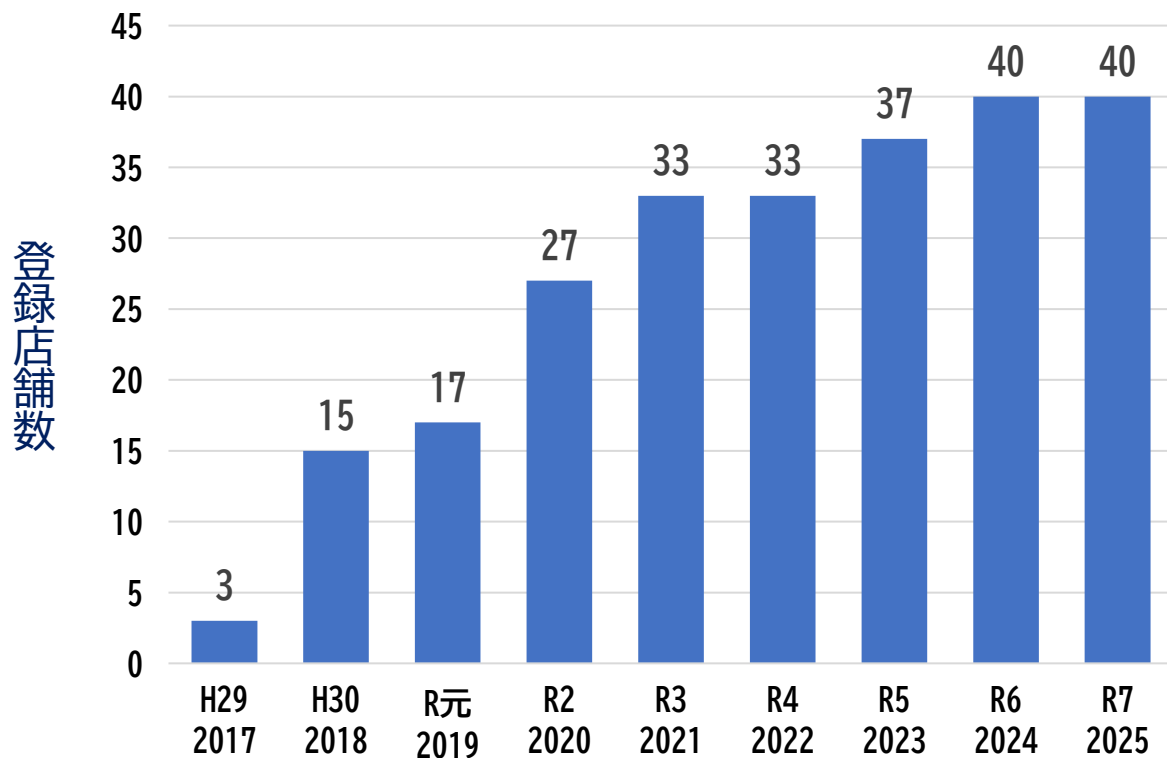
- ◇ 買いつぎない
- ◇ 冷蔵庫の中を確認して、同じ食材を買わないようにする
- ◇ アレンジ料理で使い切る
- ◇ 余ったおかずや食材は、アレンジして使い切る
- ◇ 冷蔵庫の中身をチェック
- ◇ 賞味・消費期限切れになる前に使い切る



④ 三方よしフードエコ推奨店の紹介

市ホームページやパネル展示などで市内登録店の取組を紹介

市内の登録店舗数：40 店舗（令和7年11月末時点）



三方よしフードエコ推奨店の登録店舗数の推移

新たな登録店が増えました！「三方よしフードエコ推奨店」を利用しよう！

更新日：2024年12月04日
HP番号：3879

「三方よしフードエコ推奨店」とは

滋賀県では、食品ロスを減らすために、事業者、団体、行政が情報の共有や交換を行い、さまざまな立場の関係者で連携した取組を推進していく県民運動の展開を目指しています。

食品ロスの削減に取り組む飲食店、宿泊施設、食料品小売店を「三方よしフードエコ推奨店」として登録し、その取組を広く紹介しています。

推奨店の店舗情報や取組内容は、[滋賀県ホームページ「三方よしフードエコ推奨店検索サイト」](#)（別ウインドウで開く）で公開しています。

推奨店のご紹介

彦根市内では、次のお店が推奨店に登録されています。（令和6年8月28日現在）

皆さまも、推奨店の利用を通じて、食品ロスの削減にご協力をお願いします。

食料品小売店

店舗名	店舗所在地	店舗電話番号	種別	取組内容	お店からのメッセージ等
滋賀県職員生協 滋東売店	元町4-1	0749-23-2745	売店 (菓子・パン等販売)	割引販売	来庁者もご利用いただけます。
Pマート	長曾根南町472番地の2	0749-22-0146	スーパーマーケット	割引販売 食品ロス削減レシートの情報提供 フード/バンクポスト、みんなの食室、魚のアラの再利用	もったいないをありがとうに おすすめは「超鮮度」
アル・プラザ彦根	大東町2番28号	0749-24-4111	スーパーマーケット	ばら売り・量り売りによる販売 割引販売 買味期限・消費期限表示に係る啓発 食品ロス削減レシートの提供	平和堂は、フードロス削減に取り組み、明るく元気で健康的な地域を、皆様と一緒に創ってまいります。

市ホームページ

東京都千代田区

食品ロス削減推進フォーラムの開催

食品ロスの現状やすぐに実践できる食品ロスの削減方法などを学べる親子参加型のイベントを開催

クイズやゲーム、フードドライブのほか、区内在住・在学の小学4～6年生や中学生などが、食品ロスの削減をテーマに制作した絵画・標語の中から優秀作品を展示し、表彰式を実施



開催チラシ

大阪府大阪市

学生が作成した事業者向けポスターによる啓発

学生と連携して食品ロスの削減に関する啓発ポスターを作成し、同市のイベントや市内の飲食店、各事業所等へ掲載



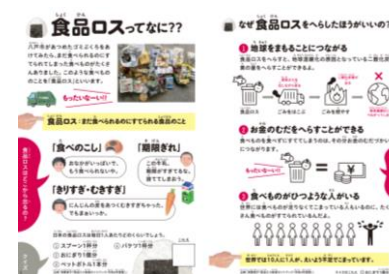
学生が作成した啓発ポスター

青森県八戸市

小学生向け食品ロス削減ワークブックの作成

食品ロスについて考えてもらうことを目的に、イラストやクイズなどを取り入れた冊子を作成し、市ホームページで紹介

小学1～3年生向けと小学4～6年生向けを作成



ワークブック
(小学1～3年生向け)

福岡県福岡市

食品ロスダイアリーの作成

家庭で発生した未利用などの食品ロスの種類や発生量などを記録することができる日記を作成し、市ホームページで紹介

記録することで、各家庭から出る食品ロス量を把握し、減らすことができるほか、無駄な家計消費を減らすことができる

小学4～6年生向けと一般向けを作成



食品ロスダイアリー
(小学4～6年生向け)

1 家庭系食品ロス

過去の調査と比較すると、食品ロスを少なくするように心がけている人の割合は増加しているものの、家庭系燃やすごみの総量の減少率（約12.1%）と比べ、家庭系食品ロスの推計量の減少率（約8.7%）は小さい。

生ごみの内、約45.1%を占める、食品ロスの更なる減量を推進する必要がある。

2 事業系食品ロス

近年、本市の食品廃棄物等多量発生事業者から出る事業系食品ロスの多くが、「食品小売業」と「外食産業」であることから、事業者の食品ロス削減の実践を促すとともに、消費者の食品ロス削減に対する意識の向上を図る必要がある。

 **具体的な食品ロス削減の手法や食品ロスの削減目標を設定した計画を策定し、進捗管理を行っていく必要があると考えている。**

2 食品ロス削減推進計画の策定状況について

2-1 国や滋賀県の状況

2-2 他自治体における策定状況

2-3 県内市町における策定状況

2-1 国や滋賀県の状況

【国】

食品ロスの削減の推進に関する法律（R元.10.1 施行）

国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進するため制定



市町村における「食品ロス削減推進計画」を定めるよう努めなければならない（第13条第1項）

【滋賀県】

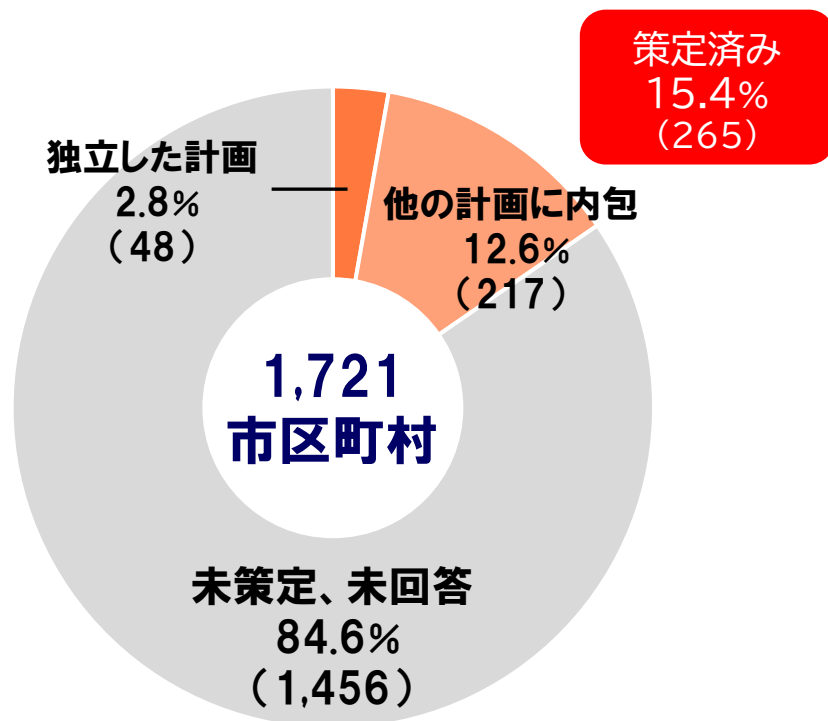
滋賀県食品ロス削減推進計画（R3.3 策定）

計画期間：令和3年度から令和7年度（5年間）

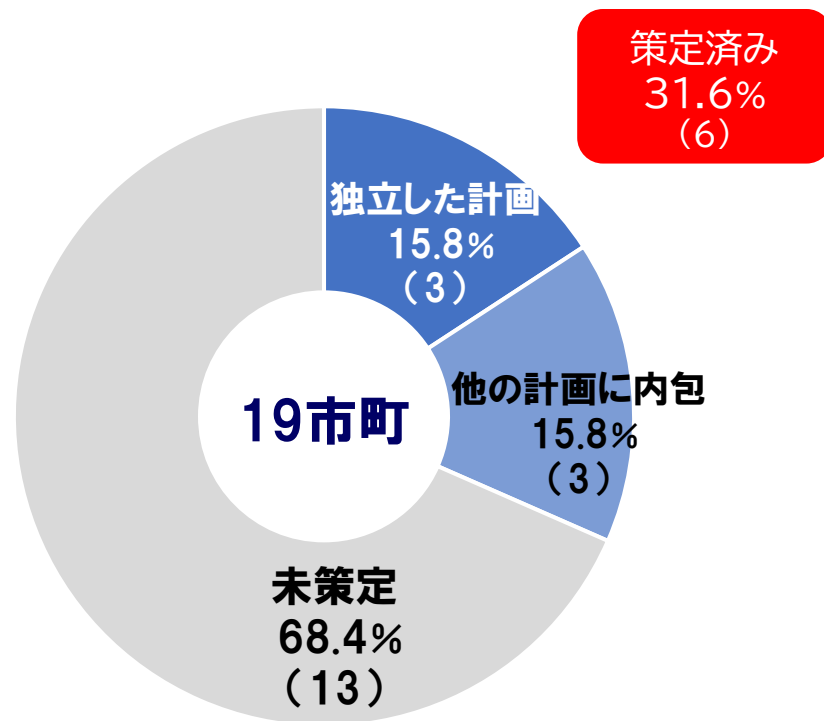
数値目標：【別紙1】のとおり

※ 令和8年度に、「第二次滋賀県食品ロス削減推進計画」を策定予定

全 国



滋賀県内



全国で約15%、滋賀県内の市町で約32%の自治体が策定済み

2-3

県内市町における策定状況

自治体	策定年月	計画期間	計画名
大津市	R3.12	R4～R12 (9年間)	一般廃棄物処理基本計画
近江八幡市	R4.3	R4～R13 (10年間)	近江八幡市食品ロス削減推進計画
栗東市	R4.3	R4～R8 (5年間)	栗東市食品ロス削減推進計画
野洲市	R4.3	R4～R8 (5年間)	第2次野洲市環境基本計画
愛荘町	R4.7	R4～R13 (10年間)	愛荘町 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画
竜王町	R6.3	R6～R15 (10年間)	竜王町食品ロス削減推進計画

各計画の数値目標については、【別紙2】のとおり

3 まとめ

1

本市における食品ロス量は、着実に減少しているものの、家庭系燃やすごみの総量の減少率と比べ、家庭系食品ロスの推計量の減少率は小さい。

生ごみの内、約45.1%を占める、食品ロスの更なる減量を推進する必要がある。

2

本市における食品ロスの削減を推進するため、「彦根市食品ロス削減推進計画」を策定する。

なお、令和8年度に滋賀県が策定予定の「第二次滋賀県食品ロス削減推進計画」と整合がとれるよう、進めていく。

滋賀県の数値目標

【滋賀県】令和3年(2021年)3月 策定（滋賀県食品ロス削減推進計画）

指標	定義	現状	目標 (2025)	目標値 (2030)
家庭系食品ロスの 年間発生量（推計）	県内の家庭から発生した 食品ロスの年間発生量	2.8万 t (2017)	2.5万 t	2.1万 t
事業系食品ロスの 年間発生量（推計）	県内の食品廃棄物等多量発生 事業者の食品ロスの年間発生量	12,697 t (2017)	11,730 t	10,590 t
食品ロス問題の認知度	食品ロス問題を「知っている」 と回答した人の割合 (※県民アンケートによる)	81.0% (2020)	90%	—
食品ロス削減の取組を 実践している消費者の 割合	食品ロス問題を認知して削減に 取り組む消費者の割合 (※県民アンケートによる)	78.3% (2020)	80%	—
食品ロス削減の取組を 実践している事業者の 割合	「三方よしフードエコ推奨店」 の累計登録店舗数	118 店舗 (2020.3 末)	300 店舗	—
フードバンクについて の認知度	フードバンクを知っていると 回答した人の割合 (※県民アンケートによる)	40.9% (2020)	80%	—

県内市町の数値目標

【大津市】令和3年(2021年)12月 策定 (一般廃棄物処理基本計画)

項目	実績	中間年度 (2025)	目標年度 (2030)	目標設定
家庭系食品ロス量 (推計)	約 6,000 t (2017)	約 5,100 t	4,500 t	家庭系食品ロス量を 2017年度比 75%
食品ロス削減を意識 している市民の割合	約 90% (2020)	92.5%	95%	目標年度までに市民の 95% が食品ロス削減を意識する

【近江八幡市】令和4年(2022年)3月 策定 (近江八幡市食品ロス削減推進計画)

区分	基準年度 (2019)	目標年度 (2031)	目標削減量	目標削減率
食品ロス量	1,800 t	1,350 t	△450 t	△25%
1人1日当たりの食品ロス量	60 g	45 g	△15 g	

※対象は、家庭系のみ

【栗東市】令和4年(2022年)3月 策定 (栗東市食品ロス削減推進計画)

指標	定義	現状	目標 (2026)
家庭系食品ロスの 年間発生量(推計)	市内の家庭から発生した食品ロス の年間発生量	695.0 t (2020)	620.6 t
食品ロスの問題の認知度	食品ロスの問題を「知っている」 と回答した人の割合	81.2% (2020)	90.0%
食品ロスの削減の取組を 実践している事業者の数	「三方よしフードエコ推奨店」の 累計登録店舗数	11 店舗 (2021.11)	16 店舗
フードバンクについての 認知度	フードバンクを「知っている」と 回答した人の割合	37.0% (2020)	80.0%

【野洲市】令和4年(2022年)3月 策定 (第2次野洲市環境基本計画)

- ・食品ロスに関する数値目標なし

【愛荘町】令和4年(2022年)7月 策定 (愛荘町 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画)

- ・食品ロスに関する数値目標なし

【竜王町】令和6年(2024年)3月 策定 (竜王町食品ロス削減推進計画)

	現状	目標値 (2033)
家庭由来の食品ロス排出量を減少させる	1人1日あたり 139g (2022)	1人1日あたり 40g
地域で食品ロスの知識や削減方法を広める人材を育成する (推進サポーター)	新規	10人
食品ロス問題の認知度を増加させる	66% (2022年度町民アンケート調査より)	90%以上
フードドライブの回収拠点を増加させる	3か所 (町公民館・町社会福祉協議会・防災センター)	6か所
買った食材を使い切る人の割合を増加させる	65.7% (2022年度町民アンケート調査より)	90%